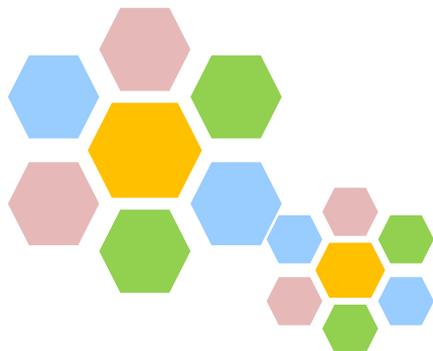


長野県JAバンクの地域密着型金融の 取組状況について(平成25年度)

平成26年11月

 長野県JAバンク

長野県JAバンクは県下20JAと長野県信連の総称です





- 長野県JAバンク(長野県下JAと長野県信用農業協同組合連合会)では、農業と地域社会に貢献するため、平成25～27年度長野県JAバンク中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- 平成25年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。



目次

1. 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援
(長野県JAバンクの農業メインバンク機能強化の取組み) … 1
2. 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … 9
3. 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供 … 13
4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 … 20



1. 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 (長野県JAバンクの農業メインバンク機能強化の取組み)

- 長野県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。



(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

- 長野県JAバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成26年3月末時点の長野県JAバンクの農業関係資金残高^(注1)は499億円(うち農業経営向け貸付金391億円)、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は148億円を取り扱っています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) 長野県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付残高には、JA転貸分を含みます。



【営農類型別農業資金残高】

(単位:百万円)

| 種類 | 平成26年3月末現在 |
|-------------------------|------------|
| 農業 | 39,140 |
| 穀作 | 2,254 |
| 野菜・園芸 | 18,868 |
| 果樹・樹園農業 | 3,095 |
| 工芸作物 | 3 |
| 養豚・肉牛・酪農 | 2,515 |
| 養鶏・鶏卵 | 153 |
| 養蚕 | 3 |
| その他農業 ^(注1) | 12,250 |
| 農業関連団体等 ^(注2) | 10,770 |
| 合計 | 49,910 |

(注1) 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注2) 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。



【資金種類別農業資金残高】

(単位:百万円)

| 種類 | 平成26年3月末 |
|-------------------------|----------|
| プロパー資金 ^(注1) | 39,377 |
| 農業制度資金 ^(注2) | 10,533 |
| 農業近代化資金 | 5,484 |
| その他制度資金 ^(注3) | 5,050 |
| 合計 | 49,910 |

(注1)「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2)「農業制度資金」には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことで長野県JAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

(注3)「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位:百万円)

| 種類 | 平成26年3月末 |
|------------|----------|
| 日本政策金融公庫資金 | 14,788 |
| その他 | 0 |
| 合計 | 14,788 |

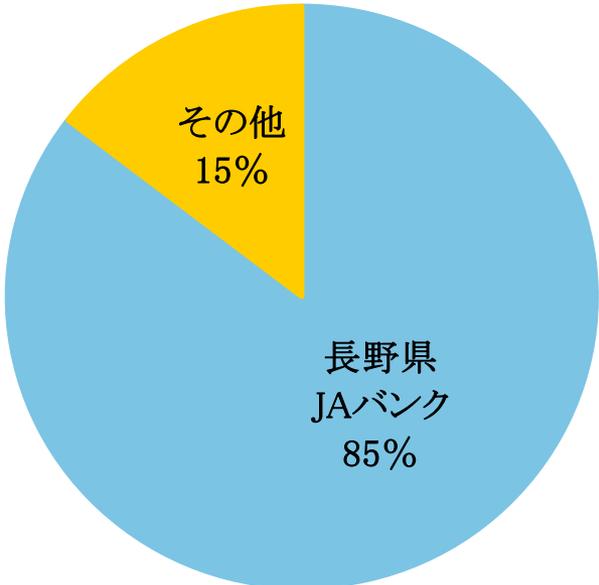
(注) 長野県JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。



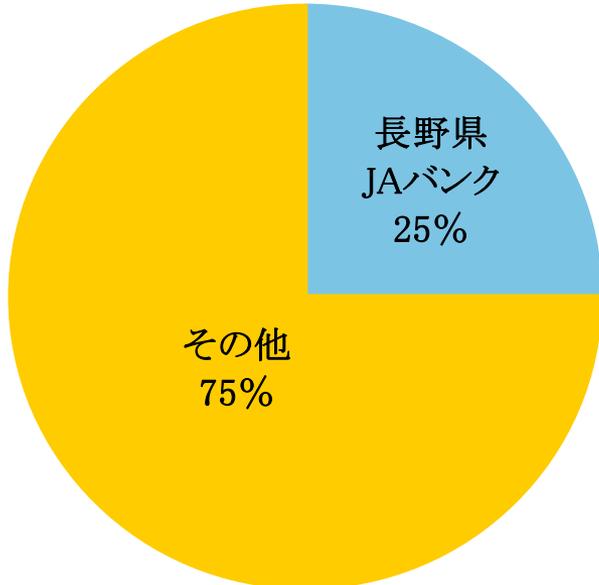
●長野県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいて県内トップシェア(公庫直貸を除く)となっています。

【農業近代化資金 融資残高シェア】

【公庫受託貸付 融資残高シェア】



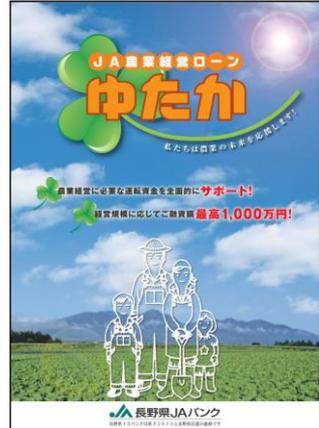
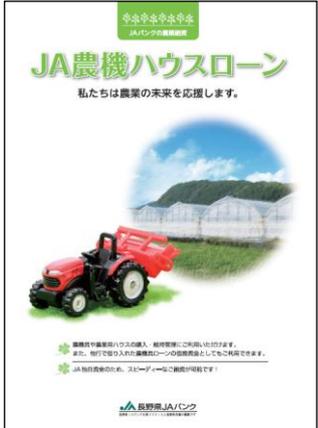
(平成25年12月末時点)
出所:農林水産省



(平成26年3月末時点)
出所:日本政策金融公庫 農林水産事業
「業務統計年報」



- 長野県JAバンクでは、農業者からの資金要請に対応するため各種農業資金をご用意しております。
- 昨年度より取扱い開始となった「JA農業経営ローンゆたか」については、短期運転資金が必要な農業者の方に広くご紹介させていただいております。
- 平成25年6月より、JA農機ハウスローン・JAアグリマイティローンの資金使途に「再生可能エネルギー対応資金」が新たに追加されました。
- 引き続き農業者のニーズの適切な把握に努め、商品力の拡充に取り組み、長野県の農業をバックアップしていきます。





(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

- 長野県JAバンクでは、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内20JAの本店には33名の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。



- 農業融資担当者の資金相談・経営相談等に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的に、農業融資の実務に即した資格の取得に取り組んでいます。平成25年度末において、長野県JAバンクでは272名の「JAバンク農業金融プランナー」^(注1)と47名の「農業経営アドバイザー」^(注2)が誕生しています。
- 信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「**県域農業金融センター機能**」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(注1) 農業金融プランナーとは、平成23年度より導入しているJA系統独自の農業融資資格制度です。

(注2) 農業経営アドバイザーとは、農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的かつ的確なアドバイスを実践できる人材を育成するために日本政策金融公庫が平成17年度に創設した資格制度です。



2. 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

- 長野県JAバンクは、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。



(1) 新規就農者の支援

- 長野県JAバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位:件、百万円)

| | 平成25年度 実行件数 | 平成25年度 実行金額 | 平成26年3月末 残高 |
|----------|----------------|----------------|----------------|
| 就農施設等資金 | 18 | 68 | 419 |
| 農業経営開始資金 | 0 | 0 | 2 |
| その他 | 0 | 0 | 10 |
| 合計 | 18 | 68 | 431 |

農業振興等に貢献するために設立された「JAバンクアグリ・エコサポート基金」が新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成を行う、JAバンク新規就農応援事業に取り組みました。

【平成25年度実績】→県下37件、3,880千円



(2) 農商工連携にかかる商談会等開催状況 (ビジネスマッチング)

- 長野県JAバンクでは、中央会、全農などと連携し、生産者・JAと加工流通業者との商談会の開催など、農業6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会開催状況】

| 商談会名 | 開催日 | 主催者 | 参加団体数 | 総来場者数 | 長野県JAバンクの関わり方 |
|---------------------|-------------|---------|-------|--------|--|
| 長野県JAバンク 農産物商談会 | H25.4.12 | 長野県信連 | 11団体 | 25名 | 県内JAの農産物加工品を首都圏企業へ紹介 カタログ掲載決定、パプリカの供給決定等、3件の成約が決定 |
| JA農機&資材 フェスタ2013 | H25.7.19~20 | 全農長野県本部 | 95団体 | 4,872名 | 農業資金、ボーナスキャンペーンPR活動 |

(3) 経営不振農業者の経営改善支援

- 長野県JAバンクでは、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成25年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位:先)

| | | 期初経営改善支援取組先A | Aのうち再生計画を策定した先数 a | Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b | Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c | 事業計画策定率 =a/A | ランクアップ率 =b/A |
|---------------|------------|--------------|-------------------|---------------------------|--------------------------|-----------------|-----------------|
| 正常先① | | 74 | 19 | | 69 | 25.7% | |
| 要注意先 | うちその他要注意先② | 101 | 39 | 4 | 78 | 38.6% | 4.0% |
| | うち要管理先③ | 6 | 1 | 0 | 2 | 16.7% | 0.0% |
| 破綻懸念先④ | | 56 | 23 | 6 | 41 | 41.1% | 10.7% |
| 実質破綻先⑤ | | 27 | 9 | 1 | 26 | 33.3% | 3.7% |
| 破綻先⑥ | | 1 | 0 | 0 | 1 | 0.0% | 0.0% |
| 小計 (②～⑥)の計 | | 191 | 72 | 11 | 148 | 37.7% | 5.8% |
| 合計 | | 265 | 91 | 11 | 217 | 34.3% | 4.2% |

(注)期初経営改善支援取組先及び債務者区分は平成24年3月末時点のものです。



3. 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

- 長野県JAバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。



(1)負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

- 長野県JAバンクでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成25年度負債整理資金の貸出実績】

(単位:件、百万円)

| 資金名 | 平成25年度実行件数 | 平成25年度実行金額 | 平成26年3月末残高 |
|--------------|------------|------------|------------|
| 農業経営負担軽減支援資金 | 2 | 43 | 154 |
| 農家負担軽減支援特別資金 | 0 | 0 | 10 |
| 畜産特別支援資金 | 2 | 27 | 265 |
| 畜産経営維持緊急支援資金 | 0 | 0 | 678 |
| 農業資金(負債整理資金) | 4 | 39 | 34 |
| 農家負債整理資金 | 0 | 0 | 98 |
| その他 | 3 | 15 | 705 |
| 合計 | 11 | 124 | 1,944 |

- ✓ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ✓ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。



(2) 動産担保融資の活用

- JAバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。
- 長野県における融資の実績は次表のとおりです。

【長野県における平成25年度活用実績】

(単位: 件、百万円)

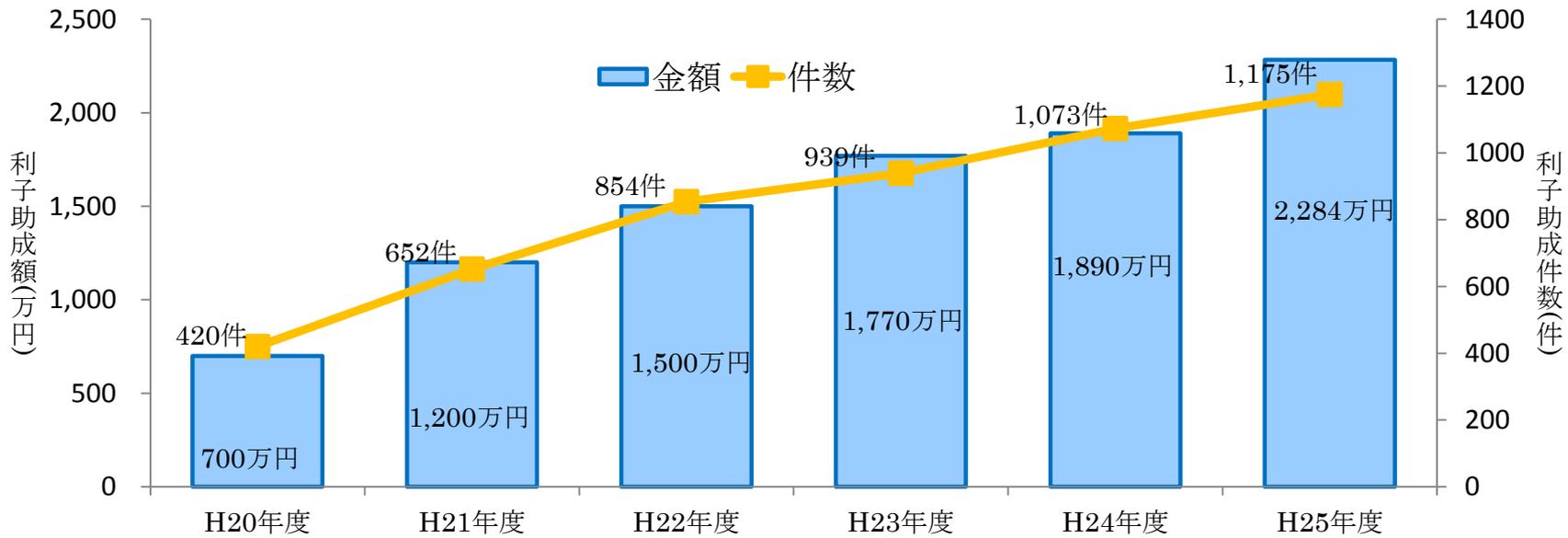
| 種類 | 件数 | 残高 | 内容 |
|------|----|-----|------------------------------------|
| 農産物 | 0 | 0 | |
| 畜産物 | 3 | 2 | 肉用牛 |
| 機械設備 | 7 | 113 | 太陽光発電事業、菌かきライン、多軸穴開機、きのこ製造ライン、ハウス等 |
| 合計 | 10 | 115 | |



(3) 農業融資への利子助成の実施

- 農業者に対するJA農機ハウスローン、JAアグリマイティーローン、スーパーS資金、農業近代化資金等の融資について、農業振興等に貢献するために創設された「JAバンクアグリ・エコサポート基金」が最大1%の利子助成を行い、担い手をサポートしています。

【利子助成実績推移(長野県取組実績)】





(4) 農業法人向け資本供与

- 平成22年度より、アグリビジネス投資育成株式会社の農業法人に対する資本供与の枠組みである「アグリシードファンド」の活用に取り組んでおり、これまでの成約実績は4件・35百万円となっております。

【アグリシードファンド活用実績】

(単位: 件、百万円)

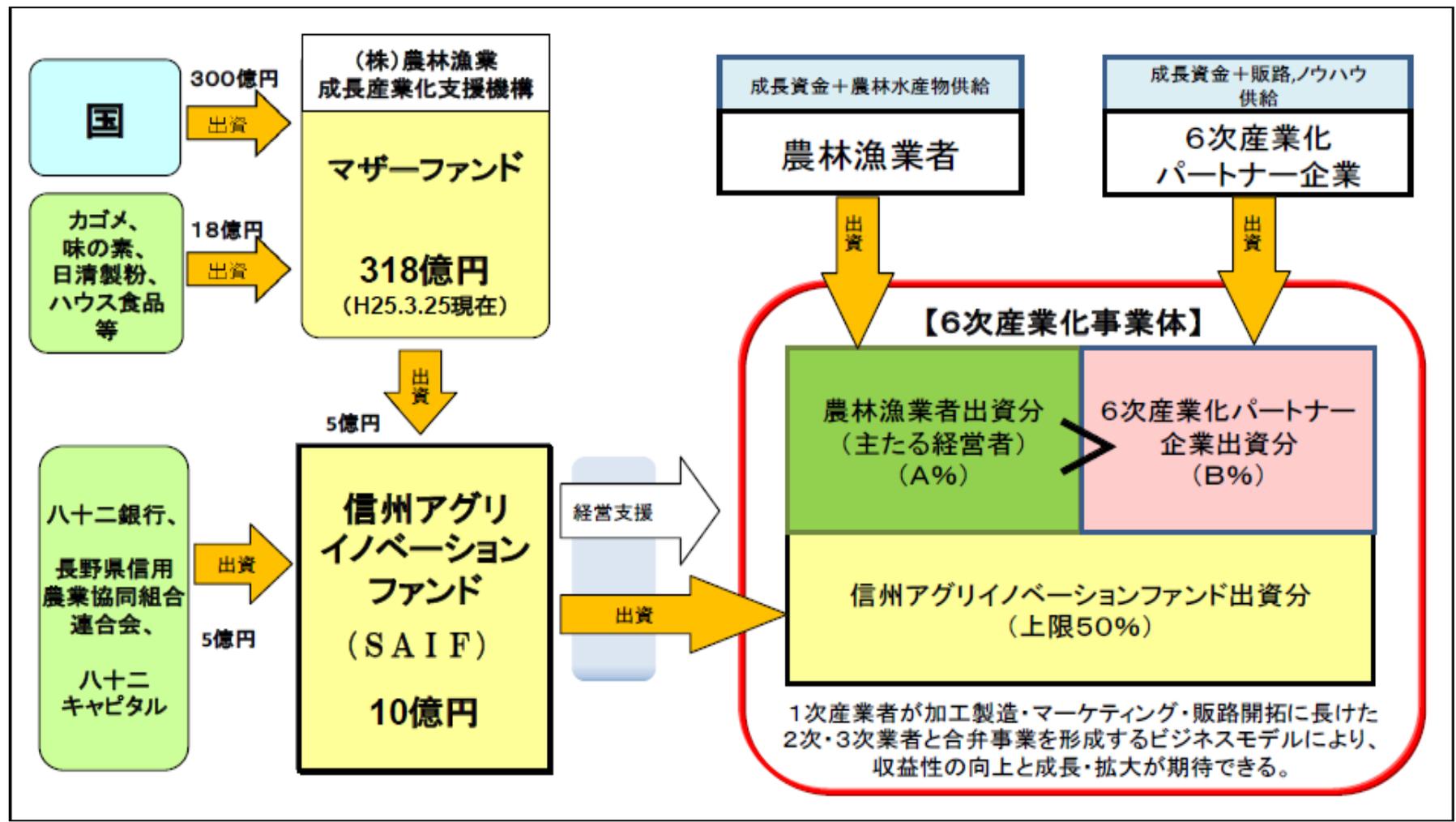
| | 平成25年度実行件数 | 平成25年度出資金額 | 平成26年3月末出資金額合計 |
|--------------|------------|------------|----------------|
| アグリシードファンド活用 | 1 | 5 | 35 |



- 6次産業化に係る成長資本提供の手法の一環である“6次産業化ファンド”については、平成25年4月にJA全国グループによる広域ファンドとしての「JA・6次化ファンド」が設立されました。また、平成25年7月には、県内金融機関等との地域ファンド「信州アグリイノベーションファンド(略称=SAIF)」も設立し、今後、県内一次産業者と二次、三次産業者の連携支援により一層努めてまいります。



【信州アグリイノベーションファンド概念図】





4. 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

- 長野県JAバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。



(1)被災者・生産資材高騰等への支援資金

- 長野県JAバンクでは、自然災害や生産資材の価格高騰及び農産物価格の下落等の災害への対策資金創設や、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

(単位:件、百万円)

| 取組事例 | JA名 | 内容 | 件数 | 貸付実行金額 |
|-----------------|----------|--|-------|---------------|
| JAバンク利子助成事業 | 長野県JAバンク | 長期にわたる農畜産物の消費・価格低迷等が、農家経営に多大な影響を与えている現状を踏まえ、農家のコスト負担を軽減することを目的に、JAが農家・組合員に融資している農業運転資金に対し、長野県信連が窓口となり、JAバンクアグリ・エコサポート基金が行う利子助成を実施しました。 | 1,175 | 23 (利子助成額) |
| 凍霜災害対策資金 | JA信州うえだ | 平成25年4月凍霜により被害を受けた農家への対策として、次年度の再生産等を図るための資金を必要とする生産者に対して、利子助成による無利子資金を設定しました。 | 6 | 15 |
| 平成25年4月凍霜災害対策金 | JA上伊那 | 平成25年4月凍霜により被害を受けた農家に対して市町村の利子補給を受け、低利融資を対応しました。 | 16 | 27 |
| 経営対策資金(災害) | JA上伊那 | 平成25年4月凍霜により被害を受けた農家で市町村の利子補給を受ける事が出来ない先に対して、営農部の利子補給を受け低利融資を対応しました。 | 2 | 3 |
| 平成25年4月凍霜災害対策資金 | JAみなみ信州 | 平成25年4月凍霜害で農作物(果樹)被害を受けた組合員に対し、行政および系統組織の利子補給を受けた無利子資金の貸出を行い支援しました。 | 7 | 16 |



| 取組事例 | JA名 | 内容 | 件数 | 貸付実行金額 |
|---------------------|----------|--|----|--------|
| 平成26年2月雪害対策資金 | JA松本市 | 雪害で被害を受けた組合員に対し、雪害対策資金を創設し対応しました。 | 1 | 3 |
| 凍霜害対策資金 | JA塩尻市 | 平成25年4月に入ってから降雪、気温低下により果樹およびアスパラガスの被害を受けた組合員に対し、市の利子補給を受けたJA独自資金を設立し、金利0%で対応しました。 | 3 | 6 |
| 低温及び降霜災害対策資金 | JA洗馬 | 平成25年の低温及び降霜災害により農作物等の被害を受けた組合員の生産の立直対策として、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。 | 2 | 4 |
| 経営対策資金 | JAグリーン長野 | 災害、疾病、その他やむを得ない事由により固定化負債が生じた農家が自ら積極的に農家経済の更正を図ろうとする者に対し、その負債を整理するために必要な資金を融通し、農家経済の再建に資する為の資金を対応しました。 | 3 | 23 |
| 平成25年4月凍霜災害対策資金 | JA須高 | 平成25年4月の凍霜により被害を受けた農家に対し、JAグループ及び行政の利子補給による低利資金を対応しました。 | 1 | 1 |
| 平成25年冠水災害対策資金 | JA須高 | 平成25年の台風18号による冠水被害を受けた農家に対し、JA及び行政の利子補給による低利資金を対応しました。 | 2 | 2 |
| 平成25年きこの生産運転 | JA須高 | きこの販売価格の低迷による夏場の運転資金不足に対し、きこの農家の生産維持継続を図るための低利資金を対応しました。 | 9 | 16 |
| 平成25年4月凍霜災害対策資金 | JA中野市 | 平成25年4月の凍霜により被害を受けた組合員に対し、行政及びJAグループの利子補給を受けた低利の資金を対応しました。 | 6 | 7 |
| 平成25年度きこの価格低迷特別対策資金 | JA中野市 | きこの価格低迷により、きこの生産者又は培養センターが必要とする当面の運転資金の資金対応を行いました。 | 55 | 554 |



| 取組事例 | JA名 | 内容 | 件数 | 貸付実行金額 |
|----------------|----------|--|-------|--------|
| 山ノ内町がんばる農業応援資金 | JA志賀高原 | 農業経営の近代化や規模拡大、運転資金等経営に関する資金について、町とJA(営農改善費)からの利子助成を受け低利融資を対応しました。 | 34 | 67 |
| 菌茸季節対策資金 | JA志賀高原 | 菌茸販売価格の低迷による夏場の運転資金不足等に対し、菌茸生産農家の経営安定を図るための資金を対応しました。 | 21 | 66 |
| きのこ特別運転資金 | JA北信州みゆき | きのこ価格低迷により、運転資金に困窮する生産者に対し、きのこ生産における必要な運転資金を当JA特別会計より利子補給する低利の資金を対応しました。 | 7 | 22 |
| 合計 | | | 1,350 | 855 |

- ✓ 平成26年2月、長野県JAバンクは「平成26年2月雪害対策資金」を創設し、県下13JAにおいて導入されました。



(2)その他地域密着への取組み

- 長野県JAバンクは、総合事業を活かした商品を通じて、地産地消に取り組んでいます。

【長野県JAバンク 秋冬キャンペーン2013】

懸賞品付定期貯金「Slow風土」(スローふうど)

| | |
|-------|--|
| 経緯 | 「地産地消」や「地域に根ざしたJAバンク」をテーマに、「JAらしさ」を追求した取組みとして、平成25年度県下統一秋冬キャンペーンにおいて、平成21年度から長野県内の農畜産物等を景品とした懸賞品付定期貯金「Slow風土」(スローふうど)を発売しました。 |
| 内容 | <p>キャンペーン期間:平成25年10月1日～12月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預入期間1年以上のスーパー定期貯金, 大口定期貯金 ・20万円を一口として抽選券を付与し、抽選により「信州の食」および「東北のうめえもの」をプレゼントします。 ・期間中ご契約いただいた方に、「ちょきんぎょ3WAYブランケット」をプレゼントします。 |
| 成果 | 県下357億円のお申し込みをいただき、ご好評をいただきました。 |
| 今後の予定 | アンケート調査でいただいたご意見等を反映し、さらに身近にJAバンク、JAらしさを感じていただける「長野県の農・食」をキーワードにした商品として、引き続き実施していく予定です。 |





【JAバンク食農教育応援事業(教材本贈呈事業)】

| | |
|-------|--|
| 経緯 | 「子どもたちの農業に対する理解の深耕をはかり、日本の農業のファン層を拡大すること、および地域の発展に貢献すること」を目的として、平成20年度から「JAバンク食農教育応援事業」を創設し、県内の子供たちに向けた取組を実施しています。 |
| 内容 | 平成20年度から贈呈しているもので、平成26年度は、県内全376の小学校(公立370校、私立4校、国立大学法人附属小学校2校)の新5年生分として、約22,500セットを、また特別支援教育版として約280セットを、最寄りのJA本支店から贈呈しました。 |
| 成果 | 贈呈した県内小学校の子どもたちから、食や農業に対する理解・関心が深まったとの感想が多く寄せられました。 |
| 今後の予定 | 引き続き、子どもたちへの農業体験学習や地元食材を使った料理教室等の食育活動を展開し、「食と農の大切さ」を伝えていきます。 |





【(株)あぐりクリエイティブ信州諏訪の設立 : JA信州諏訪】

| | |
|-------|---|
| 経緯 | ・農地保全・担い手育成 ・H25.9設立 |
| 概要 | 遊休農地を活用し農業生産に取り組む他、就農希望者を雇用し農業を実践的に学ぶ場としての機能を持つ農業生産法人です。米の栽培を中心に、加工用キャベツ・ハウレンソウ等の生産に取り組む予定です。 |
| 成果 | — |
| 今後の予定 | モデルとなる農業経営の確立を目指し、来年度より本格的な農業生産を行う予定です。 |

【地域特産農産物に対する資金対応について : JAみなみ信州】

| | |
|-------|--|
| 経緯 | 飯田市下伊那地域の基幹品種に位置づけられる「市田柿」。昨今の消費者ニーズ、品質向上の理由から原料柿の皮むき生産過程において新型の設備機器(脱針式)の使用が必須となってきています。従来、農業改良資金が資金調達の受け皿となっていましたが、同資金の資金使途の対象から外れたため、新たな受け皿が必要となってしました。 |
| 概要 | 営農・経済部門と情報を密に共有し、設備機器の更新を検討している組合員へJAプロパー資金の利用を提案し、資金対応することで設備機器更新の促進、「市田柿」の生産量維持・振興等に寄与しています。 |
| 成果 | 資金利用者:14名 貸付金額:16,583千円 |
| 今後の予定 | 設備機器(脱針式)の更新は概ね終了してきていることから、新たな資金ニーズの掘り起こしに取り組んでいます。 |